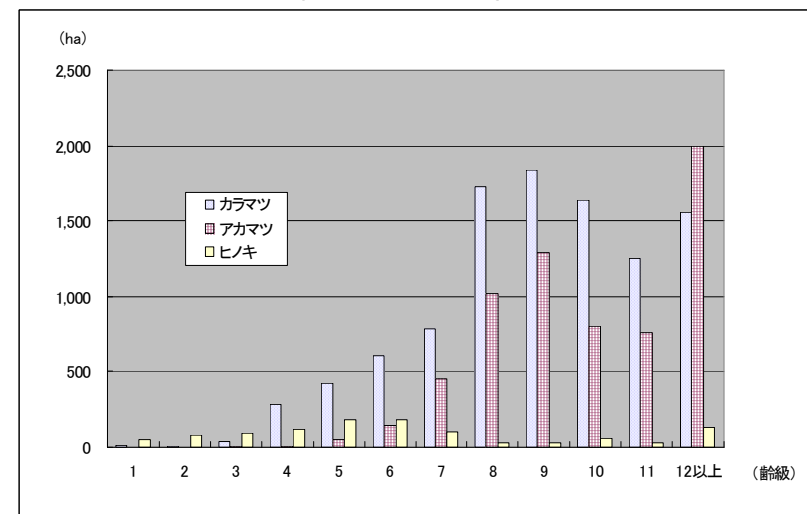


## (2) 人工林の資源内容

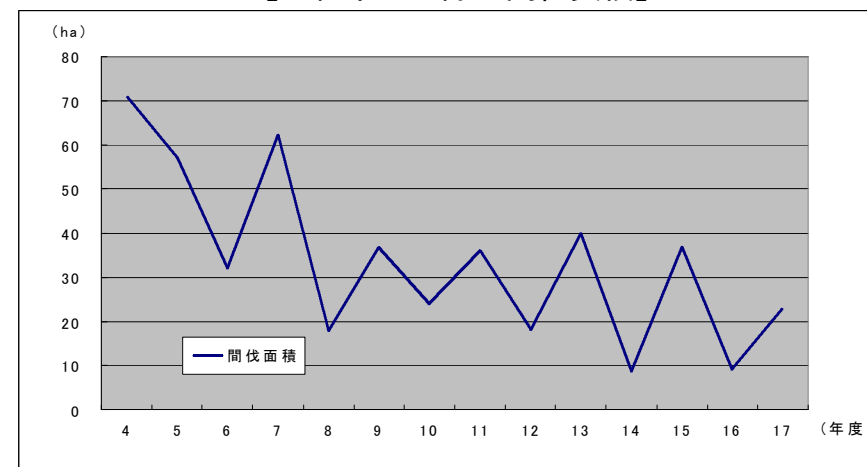
- ◆ 樹種別森林の齢級構成を見ると、カラマツ・アカマツともに、10齢級以上の森林が半数程度を占めており、これら樹種を中心とする人工林も高齢級化が進んでいる状況。
- ◆ 齢級構成のみに注目すれば、人工林は今後利用可能な森林が増大していくことが期待できるものの、これまでの除・間伐実施面積を勘案すると、未整備の森林も多く存在していることが推察される。

### 【樹種別の齢級構成】



※山梨県資料

### 【北杜市内の除・間伐実績】



※山梨県・北杜市資料（県有林の除・間伐面積は除く）

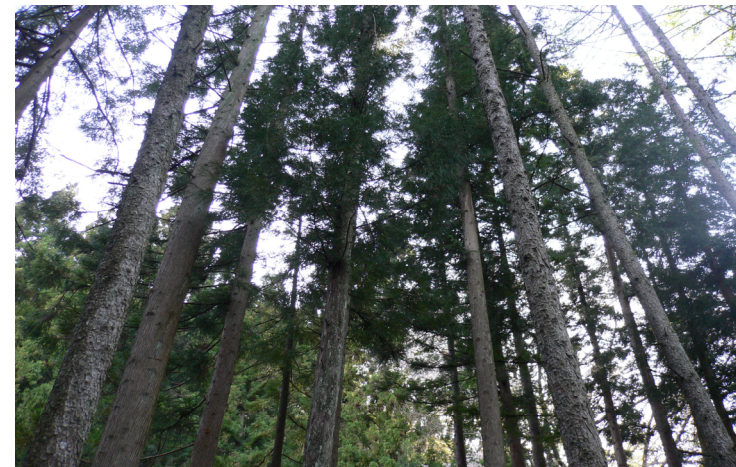
- ◆ 未間伐森林は、林冠が閉鎖され林内照度が低くなるため、下層植生が発達せず、土壌流出等の原因となる（アカマツ・カラマツ林の林内は、比較的明るい）。また、個々の林木も十分に生長せず、形状比の高い風雪害に弱い森林となる。
- ◆ 今後は、未間伐森林を解消していくとともに、高齢級化しつつある人工林を適切に管理し、将来の利用へとつながるような森林づくりを進めていく必要がある。

#### 【未間伐森林の状況】



※北杜市内ヒノキ人工林

#### 【間伐が実施された健全な森林】



※北杜市内スギ人工林